

南無阿弥陀
孫も覚えて
報恩講

(的場翠晴氏 作)

誓念寺たより

題字：前住職 藤井義憲

発行
〒912-0024
福井県大野市錦町4-17
誓念寺
TEL: (0779) 66-2943
FAX: (0779) 64-4007



令和五年度の当寺報恩講は、下記一覽表通り、十一月四日(土)、五日(日)にお勤めいたします。今年度の報恩講年番は中津川・太田・大月地区です。お斎、報恩講子どもの集いを例年通り行います。昨年度までは、コロナ禍で、お斎を寺で召し上がっていただけませんでしたが、今年度は以前同様、庫裏で召し上がっていただきます。今年度は、縁日は子どもだ

令和五年度報恩講

けでなく、一般の参詣者の方にもお楽しみ抽選と、輪投げを楽しんでいただけます。子どもの集いは、小学生・園児なら誓念寺・誓念寺中野の方以外でもだれでも参加可能です。お誘いあわせのうえ、お参り下さいませよう、よろしくお願ひいたします。

子ども報恩講集い
誓念寺報恩講と同時に開催で、子ども報恩講の集いを行います。お子さんは、本堂にお参りいただいた後、午後一時より、お菓子すくい、ストラックアウト、くじびき、輪投げ、ガチャガチャなどの縁日を行います。ぜひお越し下さい。車の駐車は誓念寺子ども園または、まこと苑の駐車場をご利用ください。

令和五年度 報恩講 日程

- 11月4日(土)
 - 午後2時00分 法要(お正信偈)
 - 2時30分 法話
 - 11月5日(日)
 - 午前9時30分 法要(十二礼)
 - 10時30分 法話 畑中 尚治 師 (鯖江市 明正寺)
 - 12時00分 お斎(おとき)
 - 午後1時00分 縁日(ガチャガチャ等)
 - 2時00分 法要(観無量寿経)
 - 前坊守 二十五回忌
 - 前副住職 十三回忌
 - 2時30分 法話
 - 4時00分 お斎(おとき)
- 仏教壮年会総会



まこと苑

住み慣れた地域で過ごす。笑顔があふれる暮らし。誓念寺子ども園の園児との交流があります。

地域密着型介護老人福祉施設

○ユニット型個室 20名 ○従来型多床室 9名
大野市内にお住まいの方で要介護3以上の方が対象。

短期入所生活介護事業所(ショートステイ)

10名
県内にお住まいの方で要支援1以上の方が対象。

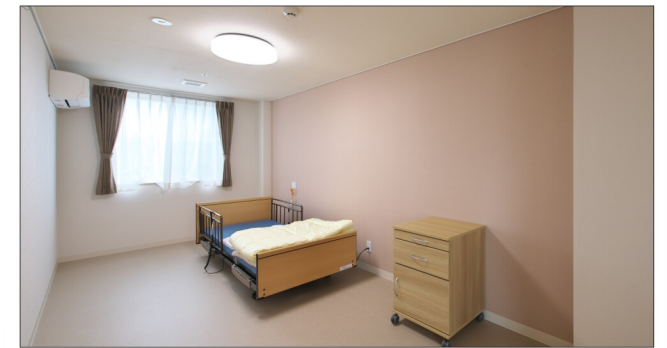
お問い合わせ まこと苑: 0779-64-4117
090-2037-3069(藤井)



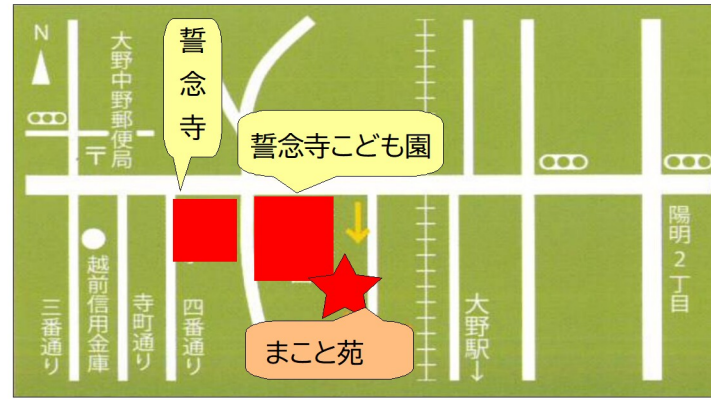
まこと苑 全景



日常生活室



個室



まこと苑と誓念寺子ども園 園児との交流の様子

まこと苑では、毎月誓念寺子ども園の5歳児(ばら組)の訪問を受け園児との交流を行なっております。園児は、お年寄りの前で歌や劇を披露し、拍手を貰って得意げです。お年寄りの中には、園児の中に、実のお孫さんのおられる方もあり、お孫さんの元気な姿に涙ぐむ姿も見られました。

園児とまこと苑の交流

令和四年度 誓念寺子ども園・誓念寺中野子ども園卒園児



經典の言葉

二千五百年前のインドで教えを説いたお釈迦さま（ゴータマ・ブツダ）の言葉を、古い經典から二つ選びました。

①人が生まれたときには、
実に口の中には
斧が生じている。
愚者は悪口を
言って、
その斧によって
自分を
斬り刻くのである。
（『スッタニパータ』
六五七、中村元訳）

仏教では、行いを身口意すなわち身体の動作、言葉意思の三種に分けて考えます。外面的な行いは目にとまりやすいですが、仏教の考え方からすると、すべての行いの根本には心の働きがあり、行いが善くなるの

も悪くなるのも心によりま

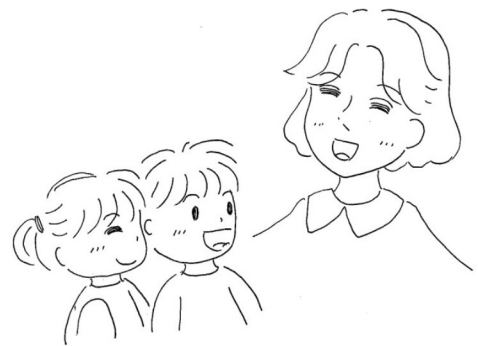
す。言葉の使用もまたれっきとした「行い」であるのに、私たちは、身体的な行いよりそれを軽く見てしまいがちです。しかし、言葉による傷は、身体の傷と同じように、あるいはそれよりずっと深くまた長く残る傷となることもあり得ます。そして私たちはしばしば言葉を不用意に振り回して、他者ばかりでなく、自分自身をも傷つけています。人が生まれるながらにして持つ口の中の斧というたとえにより、お釈迦さまはそのことを戒めているのです。

②過去を追いゆく
ことなかれ
未来を願ひゆく
ことなかれ
過去はすでに
過ぎ去りしもの
未来は未だ
来ぬものゆえに
（『賢善一喜経』、
片山一良訳）

未来や過去にとらわれず、いまを生きる——なんていいますが、生きているうちに、しかしここで説かれていいるのは、楽天的な、あるいは無責任な生き方では決してないはずですよ。この言葉に引き続いて、お釈迦さまは、「今日こそ勤め励む

べきなり 誰が明日の死を知らう」と語りかけます。いま世界で一番大きい会社はアイフオンなどを販売しているアップルという会社です。この会社を立ち上げたスティーブ・ジョブズという人は、仏教に深く心を寄せました。彼は、十七歳の時にある印象的な言葉に出会ってから三十年余り、毎朝「もし今日が人生最後の日であったならば、はたして今日しようとしていることをするだろうか」と鏡の中の自分に問い続けたそうです。いま何をすべきか、いかに生きるべきかを、仏教は問うのです。

やさしい
ことばは、
自分も
まわりも
やさしくする。



実の教えを聞き教えてくださった親鸞聖人に感謝するという仏事です。浄土真宗としては一年のうち最大の行事です。本願寺では一月九日から十六日まで勤められます。また、

それに先だって、各地区の別院や寺院や各家庭でも勤められます。当寺では、毎年十一月の第一土曜日・日曜日にお勤めいたします。僧侶約十七名でお勤めする盛大な法要です。

報恩講とは

浄土真宗の寺で行われる「報恩講」は、浄土真宗を開かれた親鸞聖人の御命日（一月十六日）を中心にし

て行われる、親鸞聖人の遺徳をしのぶ仏事です。いままで受けてきたたくさん

の「ご恩」に「報いる」ことから「報恩」と言われています。「講」は、「經典の講義」の意味で、仏教の真

徳をしのぶ、親鸞聖人の遺徳をしのぶ仏事です。いままで受けてきたたくさん

の「ご恩」に「報いる」ことから「報恩」と言われています。「講」は、「經典の講義」の意味で、仏教の真徳をしのぶ、親鸞聖人の遺徳をしのぶ仏事です。いままで受けてきたたくさん

言葉寺の掲示板

人間は、
みな裁判官
他人は有罪
自分は無罪

仏教の教えは、「心のワクチン」です。私たちが、インフルエンザやコロナに罹らないようにワクチンを打ちます。それは身体に病気がかからないようにするためです。病気が体の病気だけではなく、心にもあります。心の病気がかからないようにするのが仏教の教えです。だから「心のワクチン」です。心の病気に悩まされているか。最も大きな心の病は「自分ファースト病」です。いつも損か

得かだけを考えて、自分だけが良かったらと考える病気がです。明治維新とともに西欧から新しい文化が入ってきました。その時に、それまでは日本にはなかった個人主義が入ってきました。自立という個人主義は望ましいことですが、それは時に自己中心になり、さらに進むと、自分だけが良ければよいという「自分ファースト病」にかかる恐れがあります。「自分ファースト病」にかかると、問題が起こった時に、常に悪いのは相手だと考えるようになります。友だちが悪い。親が悪い。夫が悪い。妻が悪い。同僚が悪い。上司が悪い。部下が悪い。

いつも悪いのは相手です。自分は無罪で、他人は有罪です。親鸞聖人は、「煩惱具足の凡夫」と言われました。「煩惱」は、何事も自分中心の自分の思い通りにしたいという気持ちです。思い通りにならないと苦しみ悩みます。お互いが、自分の思い通りにしたいと思おうと争いが生まれます。「煩惱」は、自分を苦しめ、他人をも苦しめる種なのです。お釈迦さまの教えは、「自利・利他」の教えです。自利という自分中心の考えだけではなく、「利他」という「他を利する」相手のことを考える教えです。この利他という考えを持つために誰かが持っている「煩惱」をコントロールする必要があります。仏教の教えは、煩惱を調整して「自分ファースト病」にかからないようにする教えです。仏教の教えを学ぶと、自然に「自分ファースト

ト病」にかかりません。仏教の教えが、心のワクチンである理由です。仏教の教えの真実に出会うと自然に感謝と反省の気持ちが生まれます。感謝と反省の気持ちが「自分ファースト病」にかかることを防ぐのです。

枕経（臨終勤行）について

私達の先祖は、仏教の教えが心の病にかかることから身を守ることをよく知っていて、後世の私たちに大切な教えとして仏教の教えを伝えてくださっているのです。

かけがえのない方と別れを告げるご家族にとつては、新たに仏さまとして生まれる亡き人の生前のすがたを偲び、感謝しつつ、ご家族を亡くして始まるであろう不安な生活に対して、改めて仏縁を深める仏事でもあります。

従って、ご遺体の前ではなく、お仏壇の仏様の前で読経いたします。亡き人をおくられたご家族の方は、心静かにお参りいただきました。